

商学部(カリキュラム・ツリー)

| | 最低必要単位数 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 修得すべき学習成果 | | | |
|--------|----------|---|---|---|---|---------------|---|-------------|-------------------------------|--|--|--|--|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | | |
| 普通教育科目 | 基礎教養科目 | 哲学Ⅰ・Ⅱ 倫理学Ⅰ・Ⅱ 基礎統計学Ⅰ・Ⅱ 論理学Ⅰ・Ⅱ 心理学 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 環境科学Ⅰ・Ⅱ 日本文学 西洋文学 物理学 地学Ⅰ・Ⅱ 生物学 美術Ⅰ・Ⅱ 健康教育概論 スポーツ科学概論 スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ 久留米学(歴史と環境) 久留米学(文化と社会) 久留米・筑後体験学習 | | 地域学演習Ⅰ・Ⅱ 地球連携実践演習 地誌学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学概論Ⅰ・Ⅱ 自然地理学概論Ⅰ・Ⅱ 哲学概論 倫理学概論 | | | | | | 人生を豊かにする教養、倫理的・論理的な思考力 | | | |
| | | (留学生対象)日本の文化と経営Ⅰ・Ⅱ 日本の歴史文化 日本の政治経済Ⅰ・Ⅱ | | | | | | | | ビジネスに結び付く教養、倫理的・論理的な思考力 | | | |
| | ビジネス教養科目 | 環境とビジネスⅠ・Ⅱ ビジネス心理学Ⅰ・Ⅱ リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ 東アジア文化論Ⅰ・Ⅱ ビジネス倫理学Ⅰ・Ⅱ 法学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 日本史学 西洋史学Ⅰ・Ⅱ 中国史学 朝鮮史学 人間関係トレーニング入門 | | 法学概論 日本史学概論Ⅰ・Ⅱ 外国史Ⅰ・Ⅱ | | | | | | 高い職業意識、コミュニケーション力、行動力 | | | |
| | キャリア教育科目 | 大学とキャリア | 社会とキャリア インターンシップ | 仕事とキャリア デイバート | | キャリア・フィールドワーク | | キャリア・プロジェクト | | 日常生活に困らない語学力 | | | |
| 外国語科目 | 基礎外国語科目 | 英語コアプレ初級 英語コア(初級・中級・上級) 英語スピーキング/ライティング/2 ドイツ語Ⅰ フランス語Ⅰ 中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ 留学生日本語Ⅰ 外国語特講Ⅰ | | 英語スピーキング/ライティング/3・4 | | | | | | ビジネスで役立つ語学力 | | | |
| | | 英語コアプレ中級 英語スピーキング/ライティング/5・6 英語オプションA・B・C・D(導入) 英語オプションE・F・G・H 英語インセンティブⅠ・Ⅱ 卒業経営コンクール/英語Ⅰ・Ⅱ ビジネス英語特講Ⅰ・Ⅱ ビジネス英語特講Ⅱ 中国語インセンティブⅠ・Ⅱ 韓国語Ⅱ 韓国語インセンティブⅠ・Ⅱ 外国語特講Ⅱ 留学生日本語Ⅱ | | ドイツ語Ⅲ フランス語Ⅲ 中国語Ⅲ 中国語インセンティブⅢ・4 韓国語Ⅲ 韓国語インセンティブⅢ・4 | | | | | | ロイによる基本的な情報処理能力 | | | |
| 情報科目 | 4単位 | 情報処理入門Ⅰ・Ⅱ | | | | | | | | 「新しい社会をひらくビジネスリーダー」となるための基礎学力、学習力、コミュニケーション力 | | | |
| 専門教育科目 | 選択科目 | 初年次教育科目 | (注4) 演習Ⅰ | | ゼミ選択 | | ゼミ選択 | | 一貫教育 | | | | |
| | 必修科目 | 16単位 | 演習Ⅱ | | 演習Ⅲ | | 演習Ⅳ(卒業研究) | | 高度な専門性に基づくコミュニケーション力、行動力 | | | | |
| | 選択必修科目 | 12単位 | 簿記入門 | | 専門分野の深化と、幅広いビジネススキルの獲得のための連携 | | | | 各専門分野を修得するための基礎知識 | | | | |
| | 共通科目 | 68単位 | 外国語特講Ⅱ 実践経営論 実践的財産論Ⅰ・Ⅱ 医療マネジメント論Ⅰ・Ⅱ スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ 福祉マネジメント論Ⅰ・Ⅱ 健康経営論Ⅰ・Ⅱ 実用英語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス韓国語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス中国語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス応用英語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス応用中国語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス応用韓国語Ⅰ・Ⅱ 実践ビジネス応用日本語Ⅰ・Ⅱ 国内研修A 地域産業研修A 情報化と職業 | | ファイナンシャルプランナー基礎Ⅰ・Ⅱ ファイナンシャルプランナー応用Ⅰ・Ⅱ リテールマーケティングⅠ・Ⅱ | | 流通システム論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ マーケティング・コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ 国際マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 貿易論Ⅰ・Ⅱ ビジネス論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 国際物流論Ⅰ・Ⅱ 観光ビジネス論Ⅰ・Ⅱ サービスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 保険システム論Ⅰ・Ⅱ 保険産業論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 銀行論Ⅰ・Ⅱ 証券市場論Ⅰ・Ⅱ 投資情報論Ⅰ・Ⅱ 地域マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 国際金融論Ⅰ・Ⅱ 日本産業史Ⅰ・Ⅱ 商学特講Ⅰ・Ⅱ ロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ | | 基礎データ分析Ⅰ・Ⅱ | | 経営管理論Ⅰ・Ⅱ 経営心理学Ⅰ・Ⅱ 経営史Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 生産管理論Ⅰ・Ⅱ 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 経営戦略論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システムⅠ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ 中小企業経営論Ⅰ・Ⅱ 国際経営論Ⅰ・Ⅱ 労働関係論Ⅰ・Ⅱ オペレーション・リサーチⅠ・Ⅱ 経営情報システム論Ⅰ・Ⅱ 応用情報科学Ⅰ・Ⅱ 経営情報プログラミングⅠ・Ⅱ 経営情報プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ コンピュータ原論Ⅰ・Ⅱ 比較経営論Ⅰ・Ⅱ 経営統計学Ⅰ・Ⅱ ITビジネス論Ⅰ・Ⅱ 経営学特講Ⅰ・Ⅱ | | 工業簿記論Ⅰ・Ⅱ 原簿記算論Ⅰ・Ⅱ 財務諸表論Ⅰ・Ⅱ 税務会計論Ⅰ・Ⅱ 経営情報分析論Ⅰ・Ⅱ 会計監査論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 会計情報論Ⅰ・Ⅱ 会計史Ⅰ・Ⅱ 国際会計論Ⅰ・Ⅱ 環境会計論Ⅰ・Ⅱ 知財会計論Ⅰ・Ⅱ コンピュータ会計論Ⅰ・Ⅱ 実践会計論Ⅰ・Ⅱ 原簿記論Ⅰ・Ⅱ 原簿管理論Ⅰ・Ⅱ 会計学特講Ⅰ・Ⅱ 財務会計論Ⅰ・Ⅱ |
| 商学系科目 | | | マイクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ | | 経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 国際経済概論 国際経済論 経済政策Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 地方財政論Ⅰ・Ⅱ 行財政論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 中国経済史Ⅰ・Ⅱ 経済地理Ⅰ・Ⅱ 産業論Ⅰ・Ⅱ 基法Ⅰ・Ⅱ 民法Ⅰ・Ⅱ 商法Ⅰ・Ⅱ 行政法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 税法Ⅰ・Ⅱ 国際税法Ⅰ・Ⅱ 知的財産権法Ⅰ・Ⅱ 著作権法Ⅰ・Ⅱ 比較政治学Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 環境社会学Ⅰ・Ⅱ 情報と社会 筑後川流域社会経済論Ⅰ・Ⅱ | | 左記の科目から履修モデル1~6を参考に科目選択 ↓ 別表1・履修モデル別詳細ツリー参照 | | 社会人として身に付けるべき専門知識、倫理的・論理的な思考力 | | | | |
| 経営学系科目 | | | | | | | | | | | | | |
| 会計学系科目 | | | | | | | | | | | | | |
| 関連科目 | (注5) | | | | | | | | | | | | |
| その他の科目 | (注6) | (教職課程・図書館司書課程・日本語教育学課程・資格講座関連等) | | | | | | | | 各種資格 | | | |
| 合計 | 132単位 | | | | | | | | | | | | |

注2) 2年次までの修得が望ましい(一部を除き3年次以降も履修可)

- (注1) 基礎教養科目、ビジネス教養科目、キャリア教育科目から、各4単位以上を含む。
- (注2) 2018年度以降入学生は、このカリキュラムは、このとおりである。詳しくは学務部ウェブサイトを参照。
- (注3) 母語以外の外国語4単位とそれ以外の外国語4単位を含む8単位以上、もしくは母語以外の1外国語8単位以上を選択。
- (注4) 演習Ⅰ(4単位)は選択科目の最低必要単位数に算入される。
- (注5) 関連科目は12単位を上限に卒業要件に含むことができる。
- (注6) 卒業要件に含まれない履修制限外科目。